

【活動日誌320】学芸員課程の実務実習が始まりました

当館は本学で学芸員課程を受講する学生の実習の場としての役割も担っています。今年度は3年生が学内実習に取り組みますが、【活動日誌309】で紹介した見学実習に引き続き、5月末からは実務実習も始まりました。今年度も実務実習は本学で資料保存論などを担当されている奥田先生の実習からスタートです。

今年度は奥田先生に実務実習を昨年度までの倍の4回担当いただくこととなり、昨年まで実施していた、図書資料の情報整理と展示の立案に加えて、実際に履修生たちがミニ展示として図書や解説文・キャプションを配置するところまで実施する、「博物館所蔵図書を用いた展示企画」がテーマとなりました。

初回は、博物館が所蔵する図書の中から班ごとに展示をしたい本を選んでもらい、図書のタイトルや発行者、発行年などの情報を整理しつつ、図書の展示内容を立案してもらう作業を進めました。学生たちは見たことのない旧字や洋書の情報の探し方に苦労しつつ、グループでの展示企画づくりに熱心に取り組んでいました。

2回目となる次回は展示構成を決めて、解説文やキャプションを作成する作業を行う予定です。

(学芸員 廣瀬)

#博物館実習 #学芸員課程 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌309】学芸員課程の見学実習が始まりました。

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02yh6ajNYRTqaBrK5ihNUSw15zthWdT97nsceKXUMwVwSLuupQHCKwHFhTQ4bbLul>

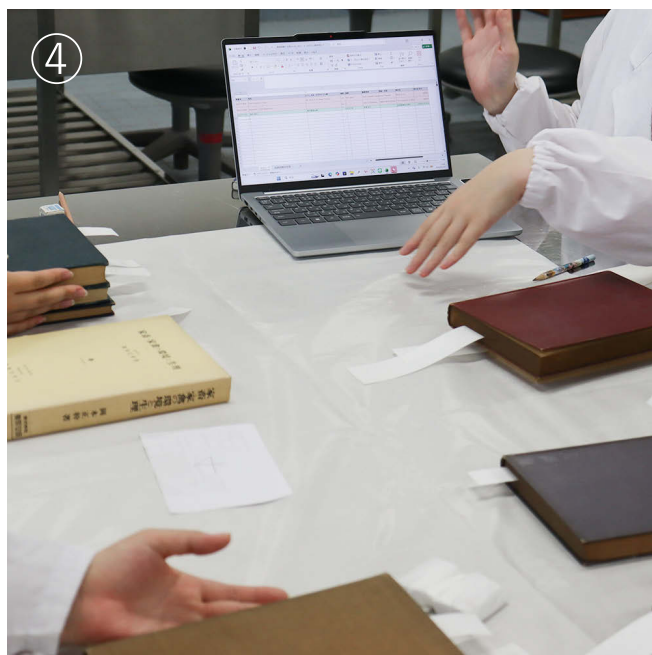
先に実施した見学実習の報告はこちらです。

■【活動日誌245】2025年度学芸員課程実務実習：資料の整理

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid031hCtMbURDdPKy74ZFuQCjASD7orgmAyaqKYcv6ZwXMvycR2g7n6aSV1tC76ZepygI>

昨年度の奥田先生の実習の様子はこちらです。

2026年7月2日の記事



- ① 図書選定の様子
- ② 実習の間は本を保管している箱の番号がわかるように紙を挟んでもらっています
- ③ 洋書の情報がどこに書いてあるのか説明している様子
- ④ グループごとに本の情報を入力している様子

【活動日誌321】学内での野鳥の繁殖2

先日学内を歩いていたら、特徴的なメジロの鳴き声がすぐ近くから聞こえてきました。周りを見回すと、樹高が2mほどしかない学内の植樹であるしだれ梅の上に、メジロの若鳥が2羽止まっていました。ある程度は羽も生えそろっていますが、まだ警戒心が低いようで近づいても逃げようとしないうえ、記録用に写真を撮影しました。ヒナたちは2羽揃って隣のウメの樹に移り、また近くのカエデの樹に移りと移動を続けていました。低いところを短距離移動できる程度には無事育つことが出来たようです。

春から夏にかけては野鳥の繁殖シーズンです。今年はすでに学内で、ハシブトガラスとヒヨドリが繁殖していること、また近くで繁殖しているムクドリが巣材を集めに来ている様子などを確認しています。わずかな緑地であってもうまく使って繁殖する鳥たちを今後も見守っていきたいと思います。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #メジロ

■【活動日誌209】学内での野鳥の繁殖

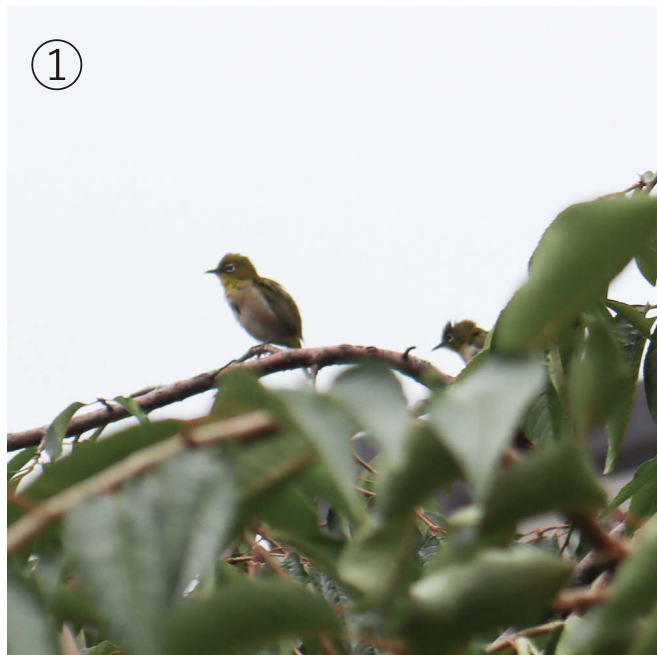
<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid025ti1BRRcdW51BNMU71xnSgWznkuo9ouUsfu9Sdpwp8hRq4KoCrBXthN71GwGH5uEI>

昨年度は巣立ったばかりのヒヨドリの ヒナが確認されました

■「ヒナを拾わないで！キャンペーン」

<https://jspb.org/newsite/business/hina-cam/>

一般の方々が地面に落ちた野鳥のヒナに出会った場合の対応がわかりやすくまとめられていますので、ぜひご参照ください。



- ① メジロのヒナたち。まだ少しポヤポヤした幼鳥の毛が残っています。
- ② 昨年度確認したヒヨドリのヒナ。学内の駐輪場にある自転車の車輪につかまったまましばらくとまっていた。このような状態のうまく飛べないヒナには手を差し伸べたくなりますが、近くで親鳥が鳴きながら警戒していたため見守っていると、しばらくして親鳥と無事に別の樹に移動しました。

【活動日誌322】武蔵境の校舎でアリの展示を行います

当館は、日本の里山に暮らす野生動物に関連したものを中心に、様々な動物標本を収集しています。自然系展示室では主に里山の野生動物の剥製を常設展示していますが、非公開エリアには国内外の様々な動物の標本が眠っています。

村上春樹による新刊『夏帆—The Tale of KAHO—』が7月3日に発売となり、同書の第2章のタイトルが「武蔵境のありくい」であることから、「武蔵境」という場所と「アリクイ」という動物に注目が集まっています。そこで武蔵境にある大学の博物館である当館にて、非公開としていた標本の中から「アリクイ」に関連したものを紹介するミニ展示を急遽開催することにいたしました。

現在急ピッチで準備を進めている最中ですが、当館所蔵のミナミコアリクイの骨格標本ほか、数点を展示する予定です。詳細は改めてfacebookにてご案内いたしますので、どうぞ楽しみに！

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #武蔵境 #アリクイ #ミナミコアリクイ



- ① 当館所蔵のミナミコアリクイ骨格標本。
- ② 6月21日までミニ展示「長次郎の再出発」を行っていた場所(一号棟展示室)を会場といたします。写真は「長次郎の再出発」の会期中に撮影したもので、写真中央に写るガラスケース内にミナミコアリクイの骨格標本を並べて展示する予定です。
- ③ 展示予定のライオンの頭蓋骨の補修作業の様子。ミニ展示ではアリクイ以外の骨格標本も展示する予定です。

【活動日誌323】南多摩中等教育学校科学部の皆さんが見学されました

当館では、学芸員による解説付きの団体見学を受け入れています。先日は、東京都立南多摩中等教育学校科学部の皆さんが団体見学で当館に来館してくださいました。

当日は、博物館が活用している一号棟と自然系展示室の見どころをご案内するとともに、科学部の顧問の先生との事前の相談の上で、現在は展示していない当館所蔵の骨格標本や剥製等についても、特別にご覧いただきました。

今回来てくださった学生さんの中には、本学のオープンキャンパスに参加してすでに博物館を見学してくださっている方も複数いらっしゃいましたが、改めて展示を見て興味を持ったことや気になることについても活発に質問していただきました。

団体見学をご希望の方は、来館希望日の3週間前までのお問い合わせをお願いいたします。都合により開館日であっても団体見学をお受けできない場合や、スタッフによる解説ができない場合がございますが、まずはお気軽に当館までご相談ください。

(学芸員 廣瀬)

日本獣医生命科学大学 # 博物館

■ 来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../004/access/index.html/>

団体見学をご希望の方は「開館情報」部分の「団体見学のお申込みについて」をご確認のうえ、申込みフォームよりお申し込みください。



① 企画展で展示している本学の講義で使われていた古い教科書を実際に手に取ってお見せしました。

(写真提供：南多摩中等教育学校)

② 常設展エリアの鳥の剥製について解説している様子。(写真提供：南多摩中等教育学校)

③ 最後に記念撮影をしてから解散となりました。(写真提供：南多摩中等教育学校)

【活動日誌324】ミニ展示「日獣大のありくい展」開催決定！

7月11日の記事でご紹介いたしましたが、7月3日に発売された村上春樹による『夏帆—The Tale of KAHO—』の第2章のタイトルが「武蔵境のありくい」であることから、「武蔵境」という場所と「アリクイ」という動物に注目が集まっています。この度、武蔵境にある大学の博物館として、ミニ展示「日獣大のありくい展」を開催することにいたしました。

本ミニ展示では当館所蔵のミナミコアリクイの骨格標本(全身および頭蓋骨)とあわせて、ニホンザルの腰椎とライオン・ニホンジカ・イノシシ・ツキノワグマの頭蓋骨を展示いたします。これらの標本を通じてアリクイの特徴である腰椎や口の構造を学ぶことができるようになっていきます。

ミニ展示は7月20日(月・祝)より公開を開始いたします。通常は月曜日や祝日は休館日となっていますが、同日に開催される本学のオープンキャンパスにあわせ、10:00～15:00まで特別に開館いたします(最終入館は14:30まで)。会期が短くなっておりまので、武蔵境でアリクイの姿を見たい方はお早めにご来館ください！

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #武蔵境 #アリクイ #ミナミコアリクイ #ありくい

2026年7月18日の記事

[展示タイトル]

ミニ展示「日獣大のありくい展」

[会期]

2026年(令和8年)7月20日(月・祝)～2026年(令和8年)8月9日(日)

※7月20日はオープンキャンパスにあわせた特別開館のため開館時間が通常と異なります

(10:00開館、14:30最終入館、15:00閉館)

[休館日]

日曜日・月曜日・祝日、年末年始、大学の定める休日

7月20日(火)・8月7日(金)

[会場]

日本獣医生命科学大学附属博物館1階 一号棟展示室

[開館情報]

- ・開館日時 火曜日～土曜日 10:30～17:00(最終入館および物販は16:30まで)
- ・休館日 日曜日・月曜日・祝日、年末年始、大学の定める休日(その他臨時休館あり)
- ・入館料 無料

※事前の告知なく開館日時や休館日等が変更となる場合があります

※ご来館前に必ず「来館案内」をご確認ください

■【活動日誌322】武蔵境の校舎でアリクイの展示を行います

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02ZEGtT9yayP4fE8eDvJA133ACFE2nSfp2NQfx9or127hX7GcQRPJLH1DSQR34LHQ5l>

7月11日の記事はこちら

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../004/access/index.html/>

来館案内はこちら

【活動日誌325】

学芸員課程実務実習：博物館所蔵図書を用いた展示企画2回目

活動日誌320で紹介した学芸員課程の受講生の実務実習ですが、先日は資料保存論等を担当されている奥田先生の2回目の実習が実施されました。2回目の実習では、前回整理した書籍の情報を踏まえて、班ごとに展示の立案をしてもらいました。

最初に奥田先生から、他館での書籍の展示の例についての解説と、道具類を使って具体的に本を展示する方法についての説明がありました。

展示の企画の立案には、どんなテーマで誰に向けて何を見て欲しいかといった展示企画のコンセプトを考えるのと並行して、展示する本やそのキャプション、解説文などを実際にどのように配置するかも考えなければなりません。履修生たちはそれぞれに展示候補の本の内容を読み込み、グループごとに熱心に企画について話し合いをし、キャプションや解説文などの文章作成にも取り組んでいました。また展示したい本をどうやって決まったスペースに配置できるかをいろいろと試しては、展示する本を選び直す、といった様子も見られました。

奥田先生による実習は次回が折り返しの3回目となります。次は実際に展示の配置を完成させるところを目指して作業する予定です。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #学芸員課程

■【活動日誌320】学芸員課程の実務実習が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02THpYRtE6ymmvgwpMVSvpxzPoF8zYJ1nRxsTfYiRrs712cVEQZNq19CYA5Qf4mcul>

奥田先生による1回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。

2026年7月23日の記事



- ① 博物館から持って来た本の展示に使える道具を使って、実際に本を配置する方法について説明する様子。
- ② 学生たちが実際に展示するスペースで本や解説文の配置などを検討する様子。
実習では実習室の机を展示台に見立てて展示の内容を検討します。

【活動日誌326】「日獣大のありくい展」開催中

2026年7月23日の記事活動日誌320で紹介した学芸員課程の受講生の実務実習ですが、先日は資料保存論等を担当されている奥田先生の2回目の実習が実施されました。2回目の実習では、前回整理した書籍の情報を踏まえて、班ごとに展示の立案をしてもらいました。

最初に奥田先生から、他館での書籍の展示の例についての解説と、道具類を使って具体的に本を展示する方法についての説明がありました。

展示の企画の立案には、どんなテーマで誰に向けて何を見て欲しいかといった展示企画のコンセプトを考えるのと並行して、展示する本やそのキャプション、解説文などを実際にどのように配置するかも考えなければなりません。履修生たちはそれぞれに展示候補の本の内容を読み込み、グループごとに熱心に企画について話し合いをし、キャプションや解説文などの文章作成にも取り組んでいました。また展示したい本をどうやって決まったスペースに配置できるかをいろいろと試しては、展示する本を選び直す、といった様子も見られました。

奥田先生による実習は次回が折り返しの3回目となります。次は実際に展示の配置を完成させるところを目指して作業する予定です。

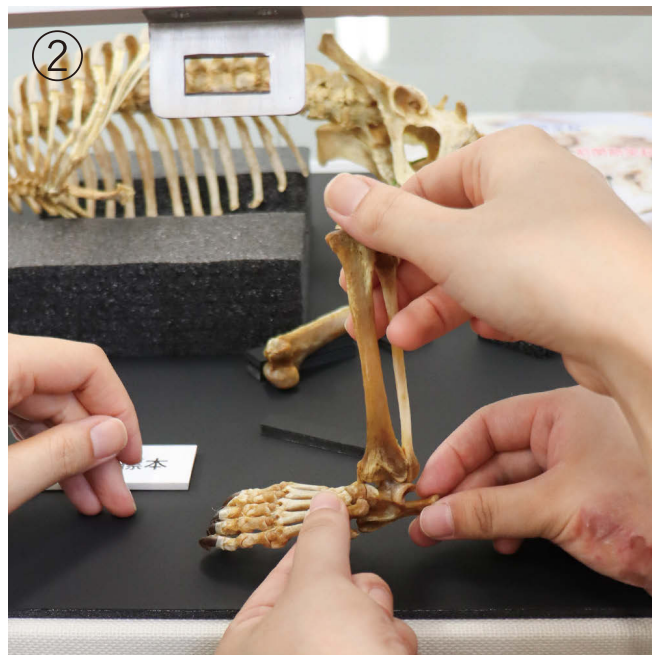
(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #学芸員課程

■【活動日誌324】ミニ展示「日獣大のありくい展」開催決定！

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0U62WQ1T9aqPsdCj9ggo3S5HuhKZB8yeCutQQrZEF3fJs4g817YBSXbooddcpSzoyl>

ミニ展示の詳細についてはこちら



- ① 首から腰、尾の一部と、肋骨や胸骨などが一塊になっている部分を、どういう風に置くと良いかを検討している様子
- ② 後ろあしの骨が実際にはどのように間接しているかを確認している様子